

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日 平成29年 4月 3日

Table with columns for project name (真壁高校との官学連携事業), classification (事業区分), budget items (予算科目), and fiscal year (事業期間). Includes sub-categories like 'Policy System Positioning' and 'Financial Accounting Positioning'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table for '1. Overview of Business Activities' (事務事業の概要). Contains two columns: ① Overview (事務事業の概要) and ② Content of business activities (担当者が行う業務の内容・やり方・手順).

Table for '2. Business Activity Methods, Targets, Intentions, and Indicators' (事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移). Includes sub-tables for ① Methods (手段), ② Targets (対象), and ③ Intentions (意図), with corresponding indicators and data for years 27-31.

Table for '3. Trend of Investment (Business Expenses)' (投入量 (事業費) の推移). Shows investment amounts for 27-31 degrees, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 人件費).

Table for '4. Implementation Content of This Fiscal Year' (当該年度の実施内容). Compares actual business expenses for 28th degree (2016) and budget for 29th degree (2017), listing items like '11 需用費', '13 委託料', and '15 工事請負費'.

Table for '4. Implementation Content of This Fiscal Year' (当該年度の実施内容). Includes a description of implementation content for 29th, 30th, and 31st degrees, with a list of main activities: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	真壁高校との官学連携事業	事務事業No.	50101000989	所属課	農林課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 まち・ひと・しごと創生事業による真壁高校との官学連携協定平成27年7月21日締結に基づき実施した

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 真壁高校は農業科との連携による農業関連事業は、農業後継者としての教育の場となる。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	ひと・まち・しごと創生事業と関連があり真壁高校生徒が農業の担い手となるよう学習の場を提供する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	真壁高校との官学連携事業の協定書締結による。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	平成28年度開始した事業であり成果はまだ出ていない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	平成28年度開始のため成果は今後である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	特になし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最小減の事業費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	官学連携事業であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	堆肥原料である給食センター野菜は仕切れ200kgの量が少なかった。落ち葉集めの費用が増額になった。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持			×																					
	低下			×																					

(6) 事務事業優先度評価結果
成果優先度評価結果
コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認